

## 【通知表渡しと三者面談】

私たちが（保護者の方も同じだと思いますが）中学生だったころ、学期末になると通知表の内容が気になっていました。学校ごとに違いはありますが、福井県内の多くの学校では担任から保護者に通知表が渡されています。これは福井県独自の風習らしく、他県では生徒が担任から受け取っているようです。以前、他県から来られた保護者から、「成績というのは生徒が自分の学習結果を振り返るためのものであり、保護者が説明されるのではないのでは。」というお話を聞いたこともあります。

さて本校では、昨年度から通知表については、三者面談という形式をとりながらお渡しする\*こととしています。さらには、生徒がどれだけ頑張ったかを振り返るものであることを考え、三者面談ではまず生徒自身が頑張ったことや努力が足りなかったことを自ら話すようにしています。

また、それまでに学校では、「教科担任面談」を複数回行っています。ご存じのように中学校は教科担任制をとっています。授業はその免許を持った教員が行うものです。ですので、普段の授業の様子は、学級担任では十分に把握することが難しいため、教科担任が直接生徒と話し合いを持ち、成果と課題を確認しています。第1回目は今週（7月の第2週目）に実施しました。

このように生徒の学習については、複数の教員が責任を持つようにしています。仮に「勉強の仕方が分からない」というようなご心配がありましたら、学級担任を通じ教科担任につなげていきます。遠慮せずには学級担任までご相談ください。

※1・2学年と3年1組については10月上旬（前期の終わり）に予定しています。3年生の他のクラスは、進路相談（夏季休業中に開催される高校のオープンスクールへの参加確認等）のため夏休み前に実施します。



1年と3年の合同授業（国語）

単元「読書に親しむ」

ブックトークをしている様子